

KSKP

障害者情報クラブニュース

No.7

暑かった夏も終わり、
朝夕の虫の音に秋の訪
れを感じる今日このご
ろです。

一九八四年

恒例!!

さて、「第5回車いすウォークラリー」は、昨年までの障害者情報クラブのみの主催ではなく御協力いただいていた団体と当クラブで組織した実行委員会形式で行われることになりました。障害者情報クラブのメンバーもコースの設定、資金集めの為の街頭募金活動やチャリティ・バザー、介助実習の指導にと準備に追われています。みなさんふるって御参考下さい。今年も秋の一日、皆で楽しく交流の場を持ちましょう。詳しくは2面をご覧下さい。（代表：井上きよし）

川崎均さんを偲んで

去る8月8日夜、会員の川崎均さんが2年間の闘病生活の末、亡くなられました。

川崎さんは、市役所の障害福祉に関する部署で20年あまり勤務されました。その間、89年に当クラブの前身である「第9回車いす市民全国集会・街づくり分科会（宝塚）実行委員会」に裏方として御用力いただいたのを初めとして、90年・91年と当クラブの恒例行事となった「車いすウォークラリー」の初回、2回目にやはり裏方として、また92年に発行の運びとなつた車いすガイドブック「マイロード&フリーウェイ」の取材準備や正誤シール貼り等をお手伝いいただきました。常に笑顔を忘れず、表に顔を出さず裏方としてコツコツと仕事をされている川崎さんの姿が今でも思い浮かびます。

お通夜には代表の井上が、

告別式には私が参列させていただきました。参列された方は、ご親戚や子供さんの学校関係を除くと宝塚市の障害者関連の方ばかりでした。このことからも、川崎さんが如何に宝塚市の障害福祉一筋に関わってこられたのかが伝わってきました。

温和な川崎さんでしたが、その秘めた思いの激しいことも何度か見せられました。そんな川崎さんの隠れた業績を讃え、ご冥福をお祈り致します。（事務局：坂上）



新しい出発

障害者情報クラブも10月28日で満5才、6年目を向かえることとなりました。新たな前進を目指すため趣意書を策定しました。詳しくは5面をごらん下さい。

第5回 車いすウォークラリー（歌劇の街探訪）

秋本番、いよいよ今年も車いすウォークラリーの季節がやってきました。

ウォークラリーという行事は、散歩に自動車のラリーのルールを適用したもので、日本で始められた行事です。大まかな目印と、その地点での進むべき方向を記した「コマ図」を頼りに、数箇所のチェックポイントを巡っていくというゲームです。私たちの行おうとしている「車いすウォークラリー」は、これを障害者でも参加しやすいようにコースや、チェックポイントの通過方法をアレンジしたものです。

下記の要領をよく読まれた上で、ふるってお参加下さい。

と き 1994年10月30日（日） 雨天中止
 と こ ろ 宝塚駅周辺
 集合場所 宝来橋（S字橋） 阪急宝塚駅から南へ徒歩1分
 集合受付 午前9時30分～10時 終了予定15時頃（昼食は用意しています）
 参加費 500円 申込締切 10月7日（先着400名）

●ハンディを持つ方も持たない方も、ご家族連れ、お友達と一緒にご参加下さい。

- ・参加を希望される障害者の方
- ・車いすを押していただける方
- ・視覚障害の方の手引きをしていただける方
- ・車いす体験をしたい方（2～5人のグループでお申込み下さい）

●送迎や介助の必要な方はご相談下さい

●バザー用品提供にご協力を！



お申込・お問合せ先

第5回車いすウォークラリー実行委員会

- ・宝塚市伊予志3-14-59 宝塚YMCA内 TEL 0797-72-9055 FAX 0797-74-3643
- ・宝塚市東洋町1-1 宝塚市社会福祉推進課内 TEL 0797-71-1141 FAX 0797-74-9948

主催 第5回車いすウォークラリー実行委員会

宝塚市・障害者情報クラブ・宝塚市社会福祉協議会

宝塚市肢体障害者協会

宝塚YMCA・宝塚ワイズメンズクラブ・宝塚外出介助の会

ボーイスカウト宝塚地区・ガールスカウト宝塚市協議会 後援 宝塚市教育委員会

宝塚中学校区青少年育成市民会議 協賛 (財)兵庫県身体障害者福祉連盟

螢が池小学校交流会

報告：中山君江

(資料朗読協力：荒井百合子)

1993年12月8日、全盲の私、中山君江と盲導犬ビッキー、ついでに脊髄損傷で車いすを常用している当クラブの代表井上きよしの2人と1匹は、豊中市立螢が池小学校になんの因果か招かれてお話をすることになりました。

そのとき聞いていた4年生から6年生の生徒感想文より数の多い感想を抜粋してご紹介します。

<井上に対して多かった感想>

- ・車いすに乗ってるので明るいなあ
- ・ズボンをはいたりお風呂に入る時は大変だろうなあ
- ・車いすに乗ってる人は生まれた時からと思ってたけど、事故のために中途から乗ってる人がいるなんて知らなかつた
- ・井上さんは車いすに乗るのが上手だなあ
- ・階段をのぼるときは人の力を借りなければいけないのはとても不便だ
- ・車いすの為のスロープがついてても人に押してもらわなければ登れないスロープがあるのは可笑しいなあ
- ・障害をもったからといって人の態度が変わるのは人として許せない



<中山に対して多かった感想>

- ・目の悪い中山さんを連れてあるくビッキーはとても偉いと思う
- ・盲導犬を初めて見たけど賢そうだ
- ・中山さんが服を着替えると、ビッキーは寝ていてもすぐ起きるのにはびっくりしたなあ
- ・盲導犬はおとなしくて優しい
- ・ビッキーのおかげで中山さんは一人で目的地にいけるんだなあ
- ・街で困っている盲人の人を見掛けたら手助けして上げたいなあ
- ・信号は皆が守らないとビッキーに恥ずかしいなあ
- ・中山さんも目が見えないのでとても面白い人だなあ
- ・障害をもっている人もすごく頑張っているのはとても偉いと思う

以上が多かった感想文です。

井上さんが最初に決めていた時間をオーバーして盛り上がり、また生徒さんが質問が多くしてくれて私も乗りまくって楽しかったですね。生徒さんにいろいろ教えられることもありました。ビッキーは家では牢名主（ろうなぬし）のようだと言ったときに皆きょとんとしてたのを見て時代の違いを感じましたね（いやですねえ）。とても楽しい学校でした。■



布引ハーブ園レク

藤山 富士美

ハーブ園に行った感想

去る5月21日に障害者情報クラブのレクで同じ宝塚の外出介助ボランティア・グループ「宝塚外出介助の会」のメンバーと一緒に神戸の布引ハーブ園に行きました。

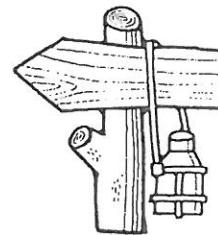
最初は、オリエンタル・ホテル（オーパ）からロープウェイに乗りそこから風の丘駅まで行くのですが、その間・・・車いす専用のロープウェイの来るのを待たなければいけなくなり、来るのを今か今かと待っていました。そして、30ないし45分ほど待ってやっと車いす用のゴンドラがやってきました。しかし、これは車いす利用者一人に1台しか使えません。それで、風の丘駅に上がったのはちょうど昼頃近くになりました。私が最後から2番目だったので、そこにつくなりお弁当の昼食をみんなで取りました。そして昼食を食べ終わってから少し時間もあったので、ちょっとしたお土産を買って、それからあとはみんなばらばらで帰りました。私はといいますと、外出介助の会のメンバ

ーと一緒に帰りました。

実をいうと私はこのハーブ園に行ったのはこれで2度目なのです。そう1度目の時は障害者情報クラブ代表の井上さんとはんしん自立の家の友達の早川君とで行きました。その時は単なる遊び感覚で行ったのですが、今回やはり考えさせられました。それはどうしてつていいますと・・・やはりハーブ園というところは健全者たちの行楽地にはいいのですが、それに比べて障害児・者たちにとってはかなりの登りや下りがしんどいと思います。ひょっとすると健全者の人達にもかなり不便かもしれません。私は、このことを切っ掛けにもう少し障害児・者のことを考え、障害児・者でも健全者に交じって楽しめるような行楽地があればいいと思いました。

私は、去年からこの情報クラブの正会員になった藤山富士美です。私がこのクラブに入会したのは地域の中でもっといろんな人達と出会って、もっと多くの方に障害者のことを知つてもらい、そして一緒にいろいろ

取り組んでいきたいと思って、正会員としてはいりました。御指導をよろしくお願ひ致します。



▷ 筆者紹介 ◁

藤山富士美（ふじやまふじみ）
??才 独身 脳性麻痺 電動車いすを主に使用 燐護施設の「はんしん自立の家」に入所する傍ら、自立生活を目指して作業所や障害者団体の活動に参加している

※ 編集部註 ※

最寄りのターミナル三宮から布引ハーブ園への車いすでのアクセスは、地下鉄とロープウェイを使うのが便利です。

地下鉄三宮駅へは、阪急三宮駅東口北隣のビル「ステラ」のエレベーターが便利です。地下鉄新神戸駅で降り、「オーパ」のエレベーターで1階へ。ピロティ沿いに西へ出るとロープウェイ入口。そこから先の長い坂は職員が介助。ロープウェイ69基のゴンドラの内たった3基だけが車いす仕様。職員の介助は手慣れています。

食事はお弁当持参が得策。

1994年度総会決定事項（抜粋）

4月2日（土）宝塚市総合福祉センターに於いて第6回総会を開催しました。今年の総会では、趣意書の見直し、会則改定、組織改革等もりだくさんなことが決められましたので、重要事項を抜粋して報告致します。（事務局）

●役員及び監査役

代 表：井上きよし
 事務局長：坂上正司
 企画局長：吉永光一
 会計局長：光森千早
 総務部長：井上みえ
 監 査 役：稻本雅俊
 小林大八

●会則改訂の主旨

主な改正点は会員種別について。今まで、正会員と賛助会員だった会員種別を改め、正会員と協力会員として、寄付や賛助金を支払っていただいた方は賛助者と位置付ける。正会員の会費は年額2,500円とし、

年度途中に正会員となった者の会費は、年度末まで月額200円として年度途中の入会をしやすくする。学生及び未成年の正会費は免除とする。好きな時だけ参加できる協力会員を創設し、会費はボランティア災害共済相当額とする。

●趣意書

みなさんはノーマリゼーションという言葉を御存知ですか。この英語は直訳すると「正常化」という意味になりますが、「障害児・者」問題あるいは高齢者問題でこの言葉を使うときには英語のノーマリゼーションがそのまま使われています。それは、日本語で「正常化」と言ってしまうと、何か『障害者は異常だから、正常な健全者に近付きなさい』というような誤ったとらえ方をされる畏れがあるからです。このノーマリゼーションという言葉が本当に意味するところは、『本当は障害者や高齢者等の社会を構成しているはずの人達が住めないような社会は「異常」な社会なんですよ。だから、そんな社会は「正常化」して障害者も含めてみんなが住めるような社会にしましょう』ということなのです。

障害者情報クラブではノーマリゼーションの実現の第一歩は、障害者、健常者双方に与えられる情報の“量”としての充実、第2段階としてその情報の“質”的充実、第3段階として、それによって得られる障害者の生活の“質”の充実であると考えます。障害者の生活の“質”というのは何も難しいことではなく、障害者自身が自分の意志でもってどれだけ自分の生活をコントロールできるかということです。

1989年の設立以来、情報の“量”としての充実を目指して様々な取り組みを行ってきました。1990年から

毎年秋に行っている「車いすウォークラリー」では、普段から外出しにくい、あるいは外出できない障害者に外出のきっかけをつくること、障害者自身が外出することにより、公共施設などの社会設備の整備をアピールすること、障害者と健常者が一緒に行動する事により、必要な介助を体験・実践すること、宝塚での障害者の観光の可能性を探り、ビデオや写真等に記録として収めることを目標に、1992年に宝塚市の委託を受けて発行した車いすガイドブック「マイ・ロード＆フリー・ウェイ」では外出を躊躇しがちな障害者への情報の提供、そして機関誌の発行等の単独事業の他、小中学校を中心としたハンディキャップ体験や講演等を通して健常者と障害者の交流も行ってきました。

1994年からは、これらの経験を踏まえて、ノーマリゼーションの実現の第2段階として情報の“質”的充実を目指して活動していきます。年々新しくなっていく街並に対応した車いすガイドブック改訂版の制作、障害者が排斥されている公共施設や学校に対する活動、障害者も健常者も一緒に楽しめるスポーツやレクリエーションの開発、パソコン通信などの新しいメディアを利用した情報提供、そして第3段階の生活の“質”的充実を見据えた障害者の自立生活を支援するシステムの研究を行っていきます。

そして最終的には、現在の福祉行政では成しえない重度障害者の自立生活を支援するシステムをつくりあげてていきます。（文責：事務局、1994年4月）

活動系

- 4月2日(土) 総会 宝塚市総合福祉センター
- 4月16日(土) 定例会 宝塚市総合福祉センター
- 4月22日(金) 事務局通信1号発行
- 5月10日(火) 役員会
- 5月14日(土) 定例会 宝塚市総合福祉センター
- 5月20日(金) 高嶺豊さんを囲む会 宝塚市役所
:国連アジア太平洋経済社会委員会(ESCAP)障害者問題専門委員の
高嶺豊さんを宝塚市に迎えて座談会 井上、坂上
- 5月21日(土) 布引ハーブ園見学
アジアの障害者とともに 大阪市社会福祉センター
:高嶺豊さんのアジアの障害者の生活や就労を伝える講演会 坂上
- 6月4日(土) 役員会
- 6月7日(火) 事務局通信2号発行
- 6月11日(土) 車いすウォークラリー第1回実行委員会
- 6月18日(土) 定例会 宝塚市総合福祉センター
- 6月25日(土) 街頭募金 清荒神清澄寺参道駐車場
- 7月2日(土) 車いすウォークラリー第2回実行委員会
役員会
- 7月10日(日) ウォークラリー・コース下見
- 7月16日(土) 定例会 宝塚市総合福祉センター
- 7月22日(金) (財)国際環境助成協会堀田事務局長と会見
シルバーネット事務局訪問
- 8月2日(火) 宝塚花火大会 宝塚ファミリーランド西駐車場特設観覧席
- 8月6日(土) 車いすウォークラリー第3回実行委員会
役員会
- 8月7日(日) ウォークラリー・コース下見
- 8月9日(火) 川崎均氏通夜 井上
- 8月10日(水) 川崎均氏告別式 坂上他6名
- 8月20日(土) 定例会 宝塚市総合福祉センター
シルバーネット・オフラインミーティング:障害者ボード設置依頼
- 8月24日(水) 宝塚まつりチャリティバザー 阪神競馬場東ウイング1F
- 8月29日(月) 事務局通信3号発行
- 9月2日(金) 車いすウォークラリー第4回実行委員会
- 9月3日(土) 街頭募金 清荒神清澄寺参道
ウォークラリー・コース下見
- 9月17日(土) 定例会 宝塚市総合福祉センター
- 9月25日(日) 宝塚ボランティア・フェスティバル車いす体験コーナー指導 ソリオ1
- 10月1日(土) 車いすウォークラリー第4回実行委員会



代表の井上が結婚?!

おいおいほんまか?
プレイボーイはやめたんか!?
泣いてる女はいっぱいいるぞ!!
これで宝塚の女性は安心して道を歩ける!

5月28日(土)快晴、×1の当クラブ代表の井上きよしは日本基督教団宝塚教会に於いて辻牧師と関係者に祝福されてみえ夫人(旧姓:神足美恵子)と結婚式を挙げました。

みえ夫人は以前にこの機関誌で紹介した公輔君の母親です。今年度からは事務局の雑務を引き受ける総務部長として活躍していただいている。

これから2人で新しい家庭を築いていってください パチ! パチ! ……(事務局) ●

車いすガイドブック 補訂版 協力者募集

宝塚市内の中学生、高校生を含めた若者が燃えたあの暑い夏から3年が経ちました。5月から10月という長い時間をかけて調べ上げた成果としての車いすガイドブック「マイロード&フリーウェイ」は、おかげさまでいま好評を博しています。

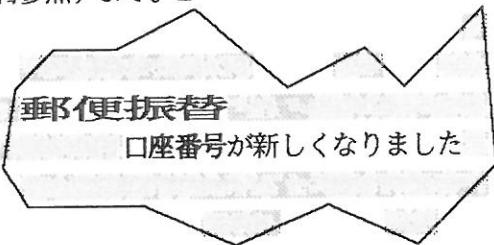
この3月に、前回工事中で取材できなかった阪急宝塚駅周辺の再開発が交通広場部分を残してほぼ完了しましたので、この冬から車いすガイドブック 補訂版の作成に取り掛かります。取材対象は、阪急宝塚駅～宝塚ファミリーランド周辺、阪急各駅周辺、市立西公民館・図書館、スポーツセンター、教育センター等です。

取材してみたい人、写真が上手な人、地図や絵をかくのが上手な人、何でもいいから手伝ってみたい人、お待ちしています。お問合せは事務局(8面奥付参照)まで。●



協力会員募集

障害者情報クラブの協力会員になってみませんか。協力会員は、正会員と違つていつでも好きな時に好きな行事に参加できる気軽な会員です。会費は、ボランティア災害共済相当額(今年は500円)です。圧さ寒さに弱くて春と秋にしか動きたくない人や学校の夏休みを利用して活動してみたい人などにはうってつけです。どしどし応募して下さい。お問合せは事務局(8面奥付参照)まで。●



郵便局の機構改革に伴って郵便振替の口座番号の形式が新しくなりました。郵便振替をご利用になる際、旧口座番号もしばらくの間は使えますが、なるべく下記の新番号をご利用下さいようお願いいたします。

郵便振替

口座番号: 01120-4-45964

口座名義: 障害者情報クラブ



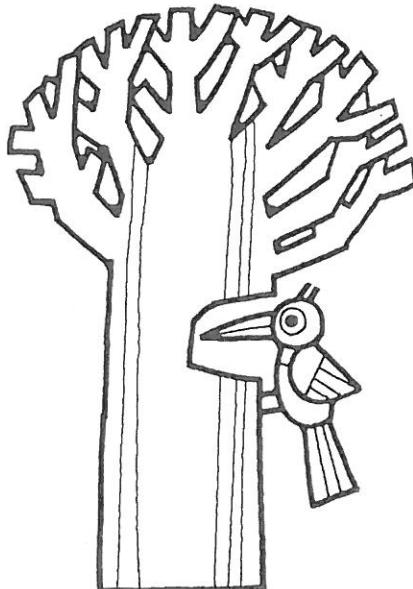
今後の活動予定

10月30日(日) 車いすウォークラリー

*定例会は原則として第3土曜日
午後1時30分から3時30分に
宝塚市総合福祉センターで行います。

- | | |
|----|---------------|
| 予定 | 10月15日(土) 定例会 |
| | 11月19日(土) 定例会 |
| | 12月17日(土) 定例会 |
| | 1月21日(土) 定例会 |
| | 2月18日(土) 定例会 |
| | 3月18日(土) 定例会 |
| | |

その他未定ですが、車いすテニススクール
やウォークラリー写真展、車いすガイドブック
補訂版作成を予定しています。



目次: 川崎均さんを偲んで・1 第5回車いすウォークラリー・2 蛍が池小学校交流会・3 布引ハーブ園レク・4 総会決定事項・5 活動経過・6 代表の井上が結婚?!・7 車いすガイドブック補訂版・7 協力会員募集・7 郵便振替口座番号が新しくなりました・7

『KSKP 障害者情報クラブニュース7』 1994.10.12

編集者: 障害者情報クラブ企画局編集部

編集責任者: 障害者情報クラブ代表 井上聖

本部・事務局: 〒665 兵庫県宝塚市中筋8-19-7 (坂上正司方)

TEL 0797-88-4329/AZUR, 89-8229/自宅 FAX 88-0779(自動)

銀行振込口座: さくら銀行 逆瀬川支店 普通 3566211

「ショウガ シヤジ ヨウカクラブ イノエキヨシ

障害者情報クラブ 井上聖」

郵便振替口座: 01120-4-45964 「障害者情報クラブ」

緑発
橋行
グ人
リ | 関
ン西
ハ障
イ害
ツ者
1F定
ア期
ド刊
企行
画物
協一
会九
・八
大阪
年市
八城
月東
二区
〇東
日中
第浜
三二
種丁
郵目
便一
物〇
認の
可一
三
毎
日
発五
行百
円